

健康のいずみ

2025

11

No.623

いのち・平和・人権・つながる

仲間増やし強化月間
取り組み中！(9～1月)
友の会新規入会…1016人
(10月22日現在)

社会医療法人社団健生会・広報紙

発行：広報委員会

〒190-0022 東京都立川市錦町1-23-25

電話 (042)523-2375 F A X (042)528-2860

URL:https://www.t-kenseikai.jp/

E-mail:izumi@t-kenseikai.jp



2025年11月5日 No.623



訪問介護の現場から

ヘルパーさんが足りない！

経営的に立ち行かず、閉鎖する訪問介護事業所が相次いでいます。今年6月末現在全国で、訪問介護事業所が「ゼロ」が15市町村、「残り1事業所」が269市町村という衝撃的な数字が明らかになっています。「介護が必要になったとき、依頼できる事業者がない」という懸念が現実味を帯び始めています。訪問介護の現場で何が起きているのか、社会福祉法人三多摩福祉会の訪問介護事業所で聞きました。

介護ヘルパーの高齢化

昨年4月、訪問介護の基本報酬が約2%引き下げられました。国は引き下げの理由を「訪問介護は利益率が比較的高いから」としています。が、高い利益を上げているのはサービス付高齢者住宅などに併設する大規模な訪問介護事業者など一部であり、多くの小規模な訪問介護事業所は厳しい経営が現状です。

「今現場で起こっているのは、経営の苦しさ、加えて慢性的なヘルパー不足です」と、三多摩福祉会の訪問介護事業所のコスモス昭島、コスモス西多摩出張所を統括する藤崎亜矢子さんは話します。訪問介護事業所は、数人の正規雇用のスタッフと多数のパートタイムの登録ヘルパーで業務を行っています。現在、登録ヘルパーの多くは70～80代。高齢化に伴い担当件数は減らざるをえないのが現状です。

「今、地域によって新規の訪問依頼があっても断らざるをえません。訪問介護のサポートを受けられないから、家族が頑張るしかない、施設に入るしかないなどのケースをたくさん見てきました」と

利用者さんの声 ① 一難病、全介助、人工呼吸器装着の10代男性。毎朝、施設への外出のための移乗介助、外出準備のサポート。週5日利用。「いろいろなサポートを受けながら息子と私の生活は成り立ちます。訪問医、看護師さん、医療機器メーカーの担当者、そしてヘルパーさん。とくにヘルパーさんは生活の中の私がカバーしきれない『すきま』をさりげなく埋めてくれます。それがどれだけありがたいことか」〔母親（写真中央）のお話〕

常勤ヘルパーHさんの1日！

9月某日、朝から気温は30℃越え。急な雨や猛暑への対策をして、電動自転車で出発です！Hさんの心の声を聞きながら、1日を追いかけてみました。

▶ **1軒目（滞在時間 8：40～9：40）** 90代女性、独居で認知症あり
デイサービスの出発までに、食事や服薬の介助をしながら掃除や洗濯など。わかりやすい言葉で話しかけ、ご自身のペースを崩さないように！

▶ **2軒目（10：10～11：10）** 70代男性、独居
移動に介助が必要な方。生活援助。買い物は例えば「醤油」1つでも、減塩が否か・量・価格などさまざま。希望を確認しその方の好みを覚えて…。ここが難しさです。
＜昼休みに＞ 事務所に戻って事務作業と昼休み。戻れない場合は、コンビニやファストフードで休憩。報告や連絡は、ヘルパー全員が持つモバイル端末で行います。

▶ **3軒目（13：00～14：00）** 80代女性、認知症の方
入浴介助。ご近所の多くが亡くなられて、介助の間の私とのおしゃべりを楽しみにされています。日常生活を続けるためにも、できることはやっていただき、でも怪我をしないようにと慎重に見守ります。

＜クーリングスポットへ＞ 公民館で20分休憩。猛暑が続くここ数年、市がホームページなどで「クーリングスポット」として公民館、図書館などを案内。休憩できて、冷たい水も用意されていて。日中、移動を続ける私たちにはありがたい場所です。

▶ **4軒目（14：30～15：30）** 80代男性、認知症あり
入浴介助。元気がなくなり心配していましたが、奥様が退院してくるとご主人は見違えるくらい元気に。“認知症症状が環境や気持ちによって大きく変化する！”を目の当たりにしています。

▶ **5軒目（16：00～16：30）** 80代女性
週2回の入浴介助、毎回30分の短い訪問。最近始められた訪問リハビリのことを生き生きと話されます。おしゃべりもしたくて、訪問を待っていてくださる方のお一人。

▶ **6軒目（16：55～17：15）** 70代男性
週3回の透析治療からの帰宅介助。高齢のご家族はできないので、車椅子を玄関まで上げて、ベッド移乗までを行います。毎回、短い時間の関わりですが少しずつ信頼関係をつくっています。

訪問ヘルパーは“究極のサービス業”と感じています。その方の生活史を知りながら、限られた時間のなかでその方に合ったサービスがしたい。帰る時の「ありがとう」という言葉が何よりも嬉しいです。



※常勤ヘルパーは1日5～8軒を、登録ヘルパーはもう少し少ない軒数を担当します。

人材が集まらない！

藤崎さんは話します。

70～80代のヘルパーの方々が仕事を始めた当時、資格取得のための「ホームヘルパー2級」講座は毎回多くの受講者が集まりましたが、現在、「介護職員初任者研修」と名前を変えた講習参加者は激減しています。三多摩福祉会が行う講習でも、12名の定員のところ毎回3名前後の参加にとどまっています。東京都の支援事業で実質無料で受講できるにもかかわらず、ヘルパー人材確保のための大きな課題です。



藤崎さん（介護福祉士）

な人口とはなっていないのが実情です。人材が集まらない理由は何か？藤崎さんは、ヘルパーという仕事の専門性を社会が適正に評価してこなかったことにあるのではないかと断言します。「ケアという仕事について、誰もができる価値の低い仕事という評価から、社会が依然として抜け出していないと感じます。実際には、ターミナルケアや認知症、感染症への対応などについて継続的な研修を受

利用者の生活を守るヘルパーの役割

け、在宅療養に関する多職種と協力しながら臨機応変な能力が求められる、とても専門性の高い仕事です。そして大きなやりがいのある仕事。この現実と社会の認識のギャップが、残念ながら低賃金や人材不足を招いていると思います」

日が短くなり、夕暮れの街に灯りがともる季節。診療所の窓からこぼれる灯りの中には、会計で交わる患者さんの笑顔や、職員同士で交わされる「おつかれさま」の声があります。寒さの増す中で、そんな小さな温かさに触れると、私たちもほっと心が和みます▼11月は、次年度の予算方針づくりが本格化する時期です。単なる数字の積み上げだけでなく、「誰のための医療か」を確かめる大切な時間です。物価や人件費の上昇など、経営を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。でも、地域の人々が安心して暮らすために、私たちは使命を揺るがしません▼友の会の活動に顔を出せば、「ここが安心」と語ってくださる方の笑顔に出会えます。経営は決して机上のものではなく、地域の声に支えられた現場の積み重ね。これからも、あの診療所の灯のように、地域に寄り添う灯りを絶やさぬよう努めていきたいと思っています。まちの灯を消さないために、地域を守る。人を守る。経営を守る。(田)

「1面からつづく」
「身体介護」、掃除・食事の準備など行う「生活援助」があります。生活援助の報酬は身体介護の半分の程度というところもあり、経営が苦しくなる現状の中で今、引き受けたがらない事業所も増えていると言われています。

コスモス昭島のヘルパーの高橋由美子さんは話します。

「訪問してまず体調を確認します。今日はしんどそうか、前回と体調が変化していないかなど。掃除や調理ももちろん依



利用者さんの声② 一難病、独居の60代男性。主に食事準備、買い物の生活援助。週3回利用。「調理以外の家事は妻が生きていた時から私の担当だから問題なし。だから食事の支度をサポートしてもらっています。週3回ヘルパーさんが来て、料理はもちろんだけど、一人暮らしだから『人と話す』という嬉しい機会になっています」

と伝わります。逆に医療チームの情報ケアをマネを通じて入ってくる。私たちは定期的

頼されたこととして大切ですが、在宅で療養し生活する利用者さんにもっとも頻回に接するヘルパーとして大切にしてい

るのは、体調の変化を察知すること。気になることがあればすぐにケアマネジャーに報告し、そこから医師や訪問看護へ

誰もが「必要な介護」を受けるために

今現場を支える高齢ヘルパーの引退の時期が迫っています。藤崎さんは訴えます、「日本中のヘルパーが高齢になっても心と体を尽くしています。長年の経験と磨き上げたスキルで利用者さんの笑顔を守り、家族の負担を軽減して地域を支えてきました。この力を潰したくはありません。超高齢社会の中で、訪問介護を継続させるために



コスモス昭島には、常勤・登録の約20人のヘルパーが在籍。写真は10月の学習会に参加された皆さん。

ミ屋敷のよきな住居の高齢者の援助に入ることもありますが、「多くが、近所の人が『あのお爺さん大丈夫かしら？』『異臭がして』『とくに』と気になるから地域

人が、外部に援助を自ら求めてくることは少ない。独居や高齢夫婦のみの世帯など、第三者の目が届かないところで、認知症などで生活に困難をきたしていることすら自覚できずにいる人たちがどれだけいるのだろうかと考えてしまします」。

訪問診療医からのひとこと

蜂須賀 仁志 医師（あきしま相互病院）



家事援助だけでなく、排泄・入浴・着替えなどの日常生活動作の援助も重要です。介護に慣れないご家族にとってはおむつの交換も容易ではなく、ヘルパーさんなしには在宅療養が成り立たない患者さんも多いです。褥瘡などの皮膚トラブルや体調変化にいち早く気づいて報告してもらったり、服薬の状況の確認や声掛け、メンタルケア、時には傷の処置を担うなど、高い専門性を発揮しています。

社会医療法人社団健生会は、72期第5回理事会で、山田秀樹医師を新理事長に選任しました。



山田秀樹・新理事長

このたび、草島健二医師の後任に、新理事長に選任されました。健生会の歩みを受け継ぎ、地域の皆さんの拠り所となる医療と介護・福祉の事業体として、さらに発展させるべく

全力で取り組んでまいります。この間の医療情勢をみれば、全国多くの病院が赤字に陥り、診療報酬の期間中改定なくしては経営が立ち行かないことが医療界の総意と

10月より山田秀樹医師が新理事長に就任

皆さんと共に、地域医療を守る

なっていますが、政治が動きません。終末期医療全額自己負担（参政党）や尊厳死法案で医療費削減（国民民主党）、OT（国民民主党）、C類似薬保険外し・病床削減11万床で4兆円の社会保障費削減（日本維新の会）など、いのちを蔑ろにし、社会保障費を無駄であるかのように取り扱う一方で、軍拡や原発の移動・新増設に前のめりな政治勢力が伸張することに強い危機感を

持っています。今や病院や介護事業所がある日突然なくなる時代です。健生会は、地域になくてはならない財産です。皆さんと共に、地域医療を守れ、の声を上げ続けたいと思います。

いのちと暮らし、人権、そして平和が尊ばれる社会を目指して、職員一人ひとりが無差別・平等の医療・介護活動を実践する中で、政治が医療や私たちの生活

三多摩福祉会の介護職員初任者研修

- 三多摩福祉会では東京都の委託を受けて、年に3回、「介護職員初任者研修」を開設しています。講義（介護の歴史、介護保険など諸制度、介護の理論・職務内容など）・実技・実習を含め130時間で修了するプログラムです（週2日通学コース：約2カ月、週4日通学コース：約1カ月）。
- 費用99,940円（税込）（受講料・教科書代）※東京都資格取得支援事業を利用の方は受講料が無料になります。
- 問い合わせ先：社会福祉法人三多摩福祉会 042-529-7142 担当：川田・蓮沼



修了生の皆さん

「介護は作業ではなく、人に対する支援です」

1990年代後半、入院から在宅療養へという流れが政策で示されました。退院後の生活をどう支えるか？そこに応えるために三多摩健康友の会会員がヘルパーの資格を取って働き始めたのが三多摩福祉会の成り立ちです。各地域の助け合い運動からヘルパーステーションが生まれ、医療と介護が一体となった事業展開へとつながっていったのです。

三多摩福祉会が行う「介護職員初任者研修」の特徴は、通学制であること、また教科書に沿いながら現場の介護職員、医療職員を講師とした、具体的な事例を入れた実践的な内容であることです。そして、「介護は作業ではなく、人に対する支援です」ということです。おむつ交換、排泄とは人としての最後の砦です。看取りにも関わります。認知症や脳梗塞で話せなくなったり動けなくなった方にも、人生の先輩としてその方の尊厳・人権を守るといふ介護の心構えが大切だということをお伝えしています。



研修担当の川田キヨ子さん

初任者研修の後、三多摩福祉会の仲間となっていた際には、ひとり立ちできるまで丁寧に指導いたします。介護、訪問介護に興味・関心のある方はぜひ、お問い合わせください。「対面の講義で、介護についてよく伝わり良かった」という受講生からの声も寄せられています。

第64回

[連載]

1994-1995 王子生協病院

立川相互病院の

風景

1994年、駆け出しのころ、北区の王子生協病院へ、1年間の出向をした。外科は、3つ年上の奈良岡先生と2人3人体制、奈良岡先生は「外科医は、手術後に苦しまないために手術中にはどんなに苦しんでもいい」と言っのが口癖。徹底した止血操作を教わった。

王子生協病院は下町の商店街にある160床の病院。街の人たちは買い物があれば商店街に来るのと同じように、病気をしたら生協病院に来るのだった。

外科病棟の看護師



で一番やさしかったのが佐藤未智子さん。やさしさが災いしてか、今や病院の看護部長に任じられてしまい、あらぬ苦勞を背負っている。小さな病院には不釣り合いの食道がんの手術も行った。術後は病棟の個室で人工呼吸器を動かした。1週間病院に泊まり込んだ。患者さんのその後が気になっていたが、今回調べてもらったら2009年まで通院の記録があった。よかったー！

数日後、外科病棟で「ママ」と慕われていたベテランの看護師さんが突然亡くなった。病棟は無言になった。

2週間遅れで、東神戸病院に手伝いに入った。高校時代のなじみの街。古い家はぜんぶ倒れていた。薬をもって街を回ると、人々が集まってきた。

「筆筭が倒れて子どもが一人死んだけど、この子が助かったからよかった」

「バスを運転していたら高速道路が倒れて先頭が空中に出たが九死に一生を得た」

「子どもなく妻と二人暮らし。震災は助かったのに、数日して妻が急死してしまった。そうしたら、妻に任せて貯めていた貯金が全然残っていないのが発覚して、妻の死よりもそっちがショック」

しゃべらないと気がすまないのだった。

アパートの焼け跡に花が

焼けた。24人亡くなったときいた。交差点に共產党の物資配布テント。のぞいたら、無精ひげのおじさんがいた。のちに知事との交渉に身を張った筒井もとじ県議だった。県議がたった一人でテントを守るあたり、さすが尋常ではなかった。

任期もあと10日という、3月20日。外来に師長がとび込んできて、「震が関が大変」と大声。地下鉄サリンだった。いよいよ重苦しく沈むスタッフ。後ろ髪をひかれながら、大好きになった街をはなれた。それから一日一日を乗り越えて、あつという間の30年。王子で出会った患者さんは、もう、多くが鬼籍に入ったことだろう。

あの一年間で患者さんから教えてもらったこと、あとの患者さんに少しはお返しできたのかしら。

【立川相互病院院長・高橋雅哉（外科医）】

連載

認知症になっても 自分らしく 暮らすために！

週に1回、デイサービスセンターたんぽぽを利用しているAさんは一人暮らしの男性です。弟さん・妹さんとの関係は良好で度々行き来をしていましたが、コロナ禍で電話でのやり取りのみとなっていました。

エピソード

コロナが落ち着き妹さんが久しぶりに訪ねてみると、雑然とした室内に瘦せたAさんの姿がありました。認知症が進み、食事を始めとする「日常生活」が難しくなっていました。早速、ケアマネジャーを中心に、入浴を含めたデイサービスの利用（他のデイサービスも複数回利用）、訪問介護、配食弁当の利用、訪問診療、ごみの「ふれあい収集」など生活の整備が行われました。サービス利用当初は、記憶力の著しい低下、単語の意味が理解できない様子がありましたが、もともとの社交的な性格でデイサービスへの拒否はなく比較的スムーズに経過し、利用を楽しみにしてくれている様子でした。

その後Aさんは、食事をしっかり摂り、服薬管理、サービス利用による「人との関わり」の刺激により、弟さん・妹さんも驚くほど（「どこが認知症かな？」と連絡帳に書いてくださったこともありました）症状の改善がみられました。一時は早めの施設入所の方角で検討されていましたが、もうしばらくこの生活が続けられそうです。

▶ 地域での暮らしを続けていくためのヒント

Aさんの症状改善にはおそらく複合的な要素がありますが、組み立てた生活援助・デイサービス利用・人との関わりがAさんが希望し必要としたものに質・量とともに合致したことも大きいと考えます。

デイサービス利用のきっかけはさまざまですが、退院などを機に家族が「一人にしておくことが危ない・リスクがある」と利用を考えるケースも多くあります。しかし、「デイサービスに行きたくない」という認知症の方は珍しくなく、ご家族は「仕事もあるし、無理にでも連れていって欲れないと困る」となることも…。利用者さん・家族の希望が一致してうまくいくケースばかりではありません。デイサービス職員は家族との関わりも大きく、その気持ちの揺れにも日々接します。利用者さん・家族にとって、より良く在宅生活を持続していくために、デイサービスだけにこだわらず、地域資源の活用な

第2章 地域で暮らし続けるためのヒントをさがして

① 利用者本人の意思を大切にする視点

田中 純子
(健生会デイサービス
たんぽぽ・社会福祉士)



連載



私の本棚

紹介者



中村 孝佑（立川相互病院リハビリテーション部・理学療法士）



星の王子さま

サン＝テグジュペリ 著
(管 啓次郎 訳)
KADOKAWA／角川文庫
¥638 (税込)

『星の王子さま』は、自分にとって本当に大切なものは何かを思い出させてくれる物語。砂漠に不時着した飛行士が、小惑星からやって来た王子さまとの出会いを通して、見えないものの価値を再認識していく姿は、読者である私に大きな気づきを与えてくれた。王子さまにとって故郷の「バラ」が唯一無二の存在となったのは、そこに費やした「時間」と「責任」という名の愛情があったから。キツネの「大切なものは、目には見えない」という言葉は、物質的な豊かさではなく、心で築く絆こそが真の価値を生むことを教えてくれた。

家族や友人、ペットなど、傍に居て当たり前という存在に対して、積み重ねた関係性の尊さを振り返ることで、その向き合い方に変化が生じる。道標のない人生という砂漠の中、私たちは何を探し求め、何に時間を費やすべきか。限りある時間の中で、この永遠の問いかけが心に深く響く。近いうち、両親とお酒を酌み交わしたいと思う今日この頃である。

ど幅広く検討することが大切と感じています。

専門職の的確な判断・意見をもとに退院後の生活設計ができることが理想です。その検討の中で、高齢者と共に認知症の方では「保護者のような存在」を求められがちで、ご自身での自由な意思決定が難しい状況になることがあります。家族の介護力などケースにより条件は異なりますが、利用者本人の意思を尊重する視点を大切に、私たちは支援に関わっていく必要があります。

第20回

窓口でもらった
「応援してるよ」というエール

宮川 拓 (立川相互病院事務次長)



2011年健生会に入職し、早14年が立ちました。入職時の自分は、医療について知識を持ち合わせておりませんでした。そんな自分を待っていたのは、配

思い出の患者さん

連載

属された立川相互病院あいきクリニックの圧倒的な患者数でした。日々が怒涛のように過ぎ、疲れ切りに帰る。今後約40年こんな生活が続くのかと考え、暗澹たる気持ちだったことを覚えています。



入職して1カ月ほどたったときでした。外来会計職員として、患者さんのお名前を呼ぶ→保険証確認・金銭授受を行う



↓必要書類を渡し↓
お大事になさってくださいと声をかける。ひたすら同じことを繰り返していたときです。次の患者さんを呼ぼうと思った自分の窓口の前に一人の女性が立っていました。業務に追われていた自分は、その女性が近づいてき

ていることにまったく気がついていませんでした。突然のこと、何かしてしまつたのかと焦る自分にその女性が声をかけてくれました。「最近入った子だよね?いつも辛そうな顔をしているから気になつていたんだ。あまり気負わずにがんばってね。応援してるよ」と言つてスッと出口に向かって行つてしま

ました。あつと言つた間の出来事でした。突然の出来事で驚きましたが、その場は次の患者さんの会計を行わなければいけません。立つて追いかけてお礼を言うことができませんでした。

ました。名前もわからず顔もはっきり覚えていないため、声をかけていただいた女性の方へは、今でもお礼を言うことができておりません。ですので、この場を借りて感謝を伝えたいと思います。

ご案内
心臓友の会「学習の集い」開催

日時：2025年11月15日(土) 午後3時～4時
場所：地域保健企画ビル6階研修室(立川市錦町1-17-15)
テーマ：心臓病の治療の進歩と、患者としての心構え
講師：田村英俊医師(あきしま相互病院/多摩みなみクリニック)
問い合わせ：心臓友の会会長 加藤恒治 Tel・Fax 042-663-7178
事務局長 加藤和夫 Tel・Fax 042-527-9081

※心臓友の会は、1985年に70名で結成以来40年にわたり学習会・親睦旅行など、患者同士で励まし合い、病院職員の皆様と手を携えて活動してきました。しかし執行部の高齢化・体調不良により会の継続が難しくなりました。今回が最後の学習会となりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております!

新春号「読者の声」投稿募集!

テーマ:

今年、行ってみたい場所

文字数: 100字以内

投稿締め切り:

2025年12月8日(月) 必着

※採用のご連絡は掲載をもってかえさせていただきます。

投稿先: お名前、ご住所を明記のうえ、以下のいずれかにお送りください。

①〒190-0022 立川市錦町1-23-25

健生会「健康のいずみ」編集部

②izumi@t-kenseikai.jp



【高】橋院長をはじめとして、医療現場の最前線での力を尽くされているスタッフの皆さんの文章に、毎回感激しています。【国分寺市S・Hさん】

【読】秋の夜長の過ぎ方! 月を眺めながら長めにお散歩する。【Y・Sさん】書に夢中です。【府中市M・Y・Nさん】

【窓】を開けて網戸にして寝る! 少し肌寒い気温の中、虫たちの美しい音色を聴きながらあったかい布団にくるまって寝る。最高の過ごし方です。【立川市M・Yさん】

85歳です。早寝します。夜長は気になりません。【八王子市H・Kさん】

【櫻】山先生が来年3月で退職と聞いてビックリ。私の良き主治医がいなくなるのが残念です。長い間貴重な命をつなげていただきありがとうございました。【立川市Y・Oさん】

【前】号の福島保健師の最後の部分はとても感動しました。「何もしない日」をする、というのは、「何もなくて何かまわらないんだよ」と言ってもらえたように読んでいただけなのに、嬉しくなりました。【職員Y・Nさん】

【昭】和歌謡を聞いた、大好きな作家さんのエッセイを読んだり、一人トランプをしたり、明日の食事に煮込み料理をしたり。老介護からやっと解放されて、人生の残り時間を我が儘気儘に暮らしています。【匿名希望】

【ク】ロスの先月、たえど。【Aさん】

A	B	C	D	E	F	G	H
カ	ボ	チ	ヤ	ノ	オ	バ	ケ

正解者の中から抽選のうえ10人に500円分の図書カードを贈呈します。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

医師が語る

私の中の
プロフェッショナリズム
とは…

第9回

大石 学 医師

(立川相互病院腎臓内科)

腎臓内科のバトンを受け取り、次へつなぐ

私は、初期研修医がさまざまな科を回っていく「スーパーローテート」研修の最初の世代です。困ったことに、回ってみるとどの科も魅力があった。そんなときにふと、腎臓内科の先生から「うちの科に来ないか?」と声がかかり、この分野にいます。

専攻科を決めるにあたり重視したのは「患者さんと近い距離感の医療がしたい」という点でした。腎臓内科は、腎機能低下の経過に寄り添い、ひとたび血液透析療法が導入されれば週に3回顔を合わせそれは生涯続くという、他科と比べて患者さんと格段に濃密な関係のある分野です。だからこそその難しさもあるけれど、患者さんに併走し信頼関係を築いていく、私には理想的なフィールドを選ぶことができたと思っています。

一方、急激な臓器不全に対してICUなどで緊急に行う急性血液浄化療法にも関わります。腎機能が低下していく局面では、腎生検という腎組織を採取する特殊な病理検査も行います。腎臓内科とは、幅広い知識と技術を要する奥深い、追究しがたいある学問領域です。

嬉しいことに腎臓内科の若手もずいぶん育ってきました。だから今、私自身は安心して病院全体の管理にも目を向けることができています。さらにもう一つ、「往診」に大きな魅力を感じています。患者さんのこれまでの人生や家族背景を聴きながら、聴診器1本で患者さんと向き合い、診断していく。あと20年くらいしたら往診に専念したい…、そういう夢も持っています。

透析室でいつも顔を合わせる患者さん方からたくさん叱られて、私は成長してきました。だからこそ、技術を磨き続けることができて、逃げずに患者さんと向き合うことの大切さを知ることができた。そういう姿勢を、後輩たちに背中中で語れているならばいいなと思っています。

●おいしい・まなぶ/2004年健生会入職。2018年より立川相互病院腎臓内科副科長、2021年より立川相互病院副院長



総合病院 立川相互病院

受付時間：午前 8:30～11:00/午後 12:30～15:30 （土曜 8:30～11:00）
〒190-8578 立川市緑町4-1 総合受付 **TEL** 0570-052585（ナビダイヤル）
（電話予約）平日9:00～17:00/土曜9:00～12:00
救急指定病院／産婦人科、眼科は予約優先です。

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
産婦人科 *妊婦健診、**遺伝 カウンセリング（予）	*坂本 張池田哲	古明地 黒田	*池田哲 長坂 菅原		*菅原 佐藤 黒田 坂本		*古明地 池田哲 池田麗 **佐藤	エコー外来 （輪番・予）	*池田麗 佐藤①③⑤ 長坂②④ 古明地	産後検診 （輪番・予）	輪番	
眼 科	大久保 横佐古	大久保	横佐古		大久保 矢野	大久保 矢野	大久保 横佐古	大久保	大久保 横佐古	月2回 （不定期）★	月2回 （不定期） ★	
紹介外来	循環器内科 （予）		循環器内科（予） 消化器内外科（予） 糖・代謝内科（予） 形成外科（予）		総合診療科 （予） 循環器内科 （予）		循環器内科（予） 消化器内外科（予）		腎臓内科（予） 循環器内科（予） 消化器内外科（予）	★詳しい日程は、外来にお 問い合わせください。 ※紹介外来は原則、紹介状の ある方の外来となります （完全予約制）。		
脳神経外科	安部（予）		佐々木（予）				安部（予）					

立川相互ふれあいクリニック

受付時間：午前8:30～11:00/午後13:00～15:30/夜間16:30～19:00 診察開始時間：午前9:00～ /午後13:30～ /夜間17:00～
（予約センター）月～金8:30～17:00/土8:30～12:00
〒190-0022 立川市錦町1-23-4 **TEL** 042-524-1371 夜間外来ではできない検査もあります。内科専門外来、健康管理センターは予約制です。

			月		火			水		木			金		土	
			午前	午後	午前	午後	夜間	午前	午後	午前	午後	夜間	午前	午後	午前	
2 階	内 科	初 診 般	中西里 阿部巧 白川 代診	原田 白川 中村桃②④ 代診	平野史 内田 堀越	水谷 野口 森		塚田 - 岩間（交互） 芹澤 藤井 矢野	島田 南條 矢野②④ 豊原	藤井 高 永倉 堀江②④⑤	浜埜 清水 青木綾 太田	森	佐野 田川 水谷	原田 佐野	平野①②④⑤ 深見①③⑤ 日野①③⑤ 下園②④ 奥泉②④ 青柳②④ 津村③ 阿部③	
		予 約	(内)藤井 (呼)土屋 (腎)小川亜 (消)中西	(呼)草島 (リウ)片岡 (神)横山	(呼)阿部 (呼)山田秀 (呼)草島 (呼)唐沢 (腎)小泉博②④ (リウ)横山	(呼)阿部 (消)草島 (消)吉本 (消)野澤 (腎)小泉博 ②④	(呼)阿部 (消)橋本③ (腎)小泉博②④ (腎)鈴木①③ (腎)大石②④⑤	(内)豊原 (内)島田 (呼)土屋 (消)石井 (消)中谷溪 (神)濱田	(消)田中 (神)濱田 (腎)神田	(内)山田正 (内)安川 (内)小泉豪①③ (内)芹澤 (呼)草島 (呼)阿部 (消)橋本	(内)安川 (呼)土屋 (呼)矢野 (呼)草島 (腎)鈴木 (喘息)阿部	(呼)輪番 (呼)阿部 (呼)土屋	(内)大谷①③ (呼)下浦 (呼)矢野②④ (神)久保田 (腎)大石 (神)志知	(内)大谷①③ (呼)下浦 (神)久保田 (神)志知②④ (土建塵肺)牛尾①③	(呼)矢野②④ (呼)桑② (呼)丹内③	
	耳 鼻 咽 喉 科		高橋		小山	難聴外来（予）		泥谷		倉持	難聴外来（予）		古賀		輪番	
3 階	内 科	予 約	(糖・代)長町 (糖・代)井上	(糖・代)山崎英 (糖・代)長町 (糖・代)井上	(内)新井隆 (循)田村 (糖・代)寺師 (糖・代)宮城 (糖・代)清水 (糖・代)井上	(循)井上 (循)稲葉		(循)田村①③ (循)新藤 (循)上川 (糖・代)樫山⑤除く (リハ)山田智①③⑤ (糖・代)澁谷 (糖・代)井上	(循)田村①③ (糖・代)樫山⑤除く (糖・代)青柳 (リハ)山田智①③⑤ (糖・代)澁谷 (糖・代)井上	(循)田村 (循)松本 (糖・代)角南 (糖・代)阿部太 (腎)杉田②④	(循)大塚 (循)松本 (糖・代)樫山		(糖・代)樫山 (糖・代)寺師 (糖・代)宮城 (糖・代)山崎英 (糖・代)井上	(糖・代)樫山 (糖・代)宮城 (糖・代)青木 (糖・代)寺師 (糖・代)井上 (心外)新野①③	(糖・代)宮城①③ (糖・代)樫山②④ (糖・代)中島⑤除く	
4 階	外 科	一 般	戸田匠	戸田匠（予）	若田 中島			高橋雅 久島（立相紹介）		蜂須賀 小林裕 高橋雅 久島		高橋雅（予） ※夜間外科は2階	中本 中島 松本		輪番	
	乳 腺 外 来		輪番					輪番		輪番			輪番		輪番	
	皮 膚 科		尾立 大津		尾立 大津	尾立		尾立 大津		澤田 交代医師			尾立 大津	尾立 大津	尾立 大津②④ ※11/29休診	
	整 形 外 科 * 受 付 終 了 時 間 月～土：午前10時30分		白川 河野 天野		向山 小野 田中康	向山		河原①③⑤ 浅井②④ 伊佐治 星		黒木 山崎 中田			日野出 足田 増田		伊佐治 山田陸	
5 階	形 成 外 科			勝又							勝又					
	健康管理センター（予約制）		安田行（予）		石戸（予）			石戸（予）		石戸（予）			青木（予）		青木（予）	
訪 問 診 療				赤間	清水②④			草島	山田智②④	矢野	藤井		清水	矢野②④		

立川相互
病院付属

子ども診療所

受付時間：午前 8:45～11:15
午後 13:15～16:00
夜間 16:45～19:00
〒190-0022 立川市錦町1-23-25 1階
TEL 042-525-6555 **FAX** 042-525-6556
ネット予約（24時間対応の電話予約は終了しました）
※毎月第4火曜日の午後は休診となります。

◎→診療時間 15：00～16：00												立川 子ども診療所	検索
	月		火		水		木			金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	夜間	午前	午後	午前	
一般外来	○		○	◎	○		○	◎	（予）	○	◎	（予）	
専門外来		おしっこ 外来				相談	相談	循環器 ②④			代謝③		
予防接種		○		○		○		○	○		○	○	
乳児健診		○		○		○		○			○		
訪問診療		○											

あきしま相互病院

医療療養型病院199床（療養病棟、回復期リハビリ病棟、地域包括ケア病棟）、訪問診療
※ショートステイ、長期の入院に応じます。ご相談下さい。
一般外来は行っていません。
※往診（訪問診療）を受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

〒196-0035 昭島市もくせいの杜2-2-1
TEL 042-500-2077 **FAX** 042-500-2078

立川相互錦町クリニック

受付時間：午前8:30～11:00/午後13:00～15:30
※泌尿器科のみ午前の受付時間は 8：30～10：30となります。
〒190-0022 立川市錦町1-16-15 **TEL** 042-512-8720
（電話予約）平日9:00～17:00/土曜9:00～12:00

	月			火		水			木		金			土	
	午前	午後	夜間	午前	午後	午前	午後	夜間	午前	午後	午前	午後	夜間	午前	午後
精 神 科	永井	永井		永井 小林義	小林義	永井	永井		永井	永井	永井			輪番	
泌 尿 器 科	李			李		森川	森川		李		一ノ瀬			森川	
透 析 室	○		○	○		○		○	○		○		○	○	
訪問診療	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○			

※泌尿器科は予約優先です。精神科は完全予約制です。
※2025年2月1日より、健生会ふれあい相互病院の閉鎖に伴い、「立川相互錦町クリニック」と改称し診療を引き継ぎます。

※ふれあいクリニック健康管理センターは、
予約が必要です。

11月 外来診療表

※医療機関内では、これまで
どおり、マスクの着用を
お願いいたします。

略 号
(循)循環器
(心)心 臓
(神)神 経
(呼)呼吸器
(塵肺)じん肺
(消)消化器
(肝)肝 臓
(腎)腎 臓
(糖)糖尿病
(血)血 液
(内代)内分泌・代謝
(リハ)リハビリ
(リウ)リウマチ
(甲)甲状腺
(代)代 謝
(バ)バースメーカー
(内)一般内科
(更)更年期
(アル)アルコール
(呼外)呼吸器外科
(CF)大腸内視鏡検査
(GF)上部(胃)
内視鏡検査
(禁)禁 煙
◎ 診 療
(予)予 約
○内の数字は
該当週
(輪番)=交代制
お問い合わせください。

昭島相互診療所

診療科目：内科 受付時間：午前8:45～12:00/午後13:30～16:00
〒196-0031昭島市福島町908-17
TEL 042-545-2712 **FAX** 042-545-8825

	月	火	水	木	金	土
午前	安西 渡辺	大山 大坂 蜂須賀	大山 安西 山田(予)①③ 田村(予)②④ PFAS外来	宮城①③ 青柳②④ 安西	大山 安西 田村①③ PFAS外来	安西①③⑤ 輪番②④
午後	訪問診療		(糖・予)山崎	ワクチン外来	訪問診療	

大南ファミリークリニック

診療科目：内科・小児科
受付時間：午前8:45～12:00/午後(予約)14:00～16:00/
夜間(木)17:00～19:00
〒208-0013 武蔵村山市大南2-1-8
TEL 042-590-0373 **FAX** 042-590-5700

	月	火	水	木	金	土
午前	宮地(内・小児)③ 金子(内) 堀江(内)②	青柳(代謝) 奥野(内)	宮地(内・小児) 宮本(内)	南條(内) 小林(内) エコー検査	赤間(内) 堀江(内)	宮地(内・小児)① 長町(内)③ 南條(内)④ ※原則②は休診
	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	
午後	訪問診療	訪問診療	宮地②④ (小児ワクチン外来・予)	訪問診療	訪問診療	
夜間				小林誠(内)②④		

国分寺ひかり診療所

診療科目：内科
受付時間：午前8:45～11:30/午後 往診
〒185-0034 国分寺市光町3-13-34 **TEL** 042-573-4011 **FAX** 042-573-4039

	月	火	水	木	金	土
午前	小泉 宮本	吉本 宮本②④ 栄養相談③ エコー検査②	宮本①③⑤ 田中	松本 萩原	古谷 宮本②④	古谷①④⑤ 矢可部(予・物忘れ)②③
	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	
午後	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	

※特定健診、各種予防接種のご予約のお電話をお待ちしております。

羽村相互診療所

診療科目：内科・小児科
受付時間：午前8:30～12:00/夜間17:00～20:00
〒205-0023 羽村市神明台1-30-5 **TEL** 042-554-5420 **FAX** 042-555-3151

	月	火	水	木	金	土
午前	大塚② 武井③ 井上(予)②③ 小林(予)③	江夏 渡邊 樫山(糖・予)②	江夏 木嶋 武井	井上 江夏	菅原 金② 佐々木④ 輪番⑤	春木薫(循)① 井上①③ 岸原(循)② 輪番② 佐々木②⑤ 鐙田④ 春木伸(循)④⑤
		飯塚(物忘れ・予) ①③	小林(予)		村上 (糖・内泌・内)	
午後	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	
夜間			山田(予)①③ 井上(予)②④			

日野台診療所

診療科目：内科・小児科
受付時間：午前8:45～11:30/午後13:45～16:00
〒191-0003日野市日野台4-26-16 **TEL** 042-581-6175 **FAX** 042-581-4070

	月	火	水	木	金	土
午前	寺師	宮地 安田	寺師 一沢	寺師 宮地②④	安田	寺師①③⑤ 輪番② 安田④
		訪問診療				
午後	休診	小児ワクチン (予)①③	休診	休診	赤羽	
	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	

府中診療所

診療科目：内科・循環器科・代謝科・整形外科
受付時間：午前8:40～12:00/午後13:30～16:00
〒183-0055 府中市府中町1-13-3 **TEL** 042-365-0321 **FAX** 042-365-0323

	月	火	水	木	金	土
午前	岩本	児嶋(整形) 桂	青木	青木 岩本	中野①②④ 矢野③	江藤①⑤ 小泉豪②④ 國香③
	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	
午後	休診	山口	竹田 木住野①③	休診	中野①②④ 矢野③	
	訪問診療	訪問診療②④	訪問診療	訪問診療		

※2025年11月より、火曜日午後の梶尾医師がしばらくの間お休みとなります。

谷保駅前相互診療所

診療科目：内科
受付時間：午前 8:45～12:00/午後 往診
〒186-0003 国立市富士見台1-17-36 **TEL** 042-576-3896 **FAX** 042-571-6657

	月	火	水	木	金	土
午前	輪番 鎌尾(①③ ～10:00)	赤間 矢野	小松 関谷	木戸 鎌尾	鎌尾	木戸① 石川① 滝沢②④ 矢野③⑤
	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	
午後	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	

すながわ相互診療所

透析診療(予約制)：昼間透析 月～土/準夜透析 月・水・金
〒190-0002 立川市幸町5-9-2 **TEL** 042-538-1502 **FAX** 042-534-0372

八王子共立診療所

診療科目：内科・呼吸器内科・糖尿病内科・整形外科
受付時間：午前8:45～12:00/午後14:00～16:30
〒192-0082 八王子市東町2-3八王子共立ビル1階
TEL 042-639-7621 **FAX** 042-643-1115

	月	火	水	木	金	土
午前	奥野(内) 伊藤(内・糖) 野口(内)	飯塚(物忘れ・予) ①③ 小松(内) 石川(内)	奥野(内) 関野(内)②④ 野口(内)①③⑤	杉山(内) 中西(内) 唐沢(内・呼) ～11:00	杉山(内) 奥野(内) 野口(内)	奥野(内)①③⑤ 野口(内)② 石川(内)④ 河野(整外)①③
		訪問診療		訪問診療	訪問診療	
午後	伊藤(内・糖) 栄養指導(予)		奥野(内)	角南(糖・予)		
	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療		

ながふさ共立診療所

診療科目：内科・小児科・麻酔科・糖尿病内科・整形外科
受付時間：午前8:50～12:00/午後13:45～16:30
〒193-0824 八王子市長房町1462-5 **TEL** 042-664-1005 **FAX** 042-664-6037

	月	火	水	木	金	土
午前	松田(内・小児)	宮平(内)	松田(内・小児)	奥野(内) 野口(内)	田口(内・循) 松田(小児) 11:30～12:30	松田(内・小児)① 須藤(内・小児)③⑤ 西川(整外・予)②④
		訪問診療			訪問診療	
午後	松田(内・小児) ～18:00	国東(内・糖)②④ 濱田(内)①③⑤ 川尻(胃カメラ・予)①③ 超音波検査(予)②④	松田(小児ワクチン外来・予)②④	松田(内・小児)		岩城(整外・予)①③
		訪問診療				

多摩みなみクリニック

診療科目：内科・呼吸器内科・整形外科 (予約制)
受付時間：午前8:45～12:00/午後13:30～16:30
〒206-0025 多摩市永山1-7-8 **TEL** 042-311-4415 **FAX** 042-389-4044

	月	火	水	木	金	土
午前	田村(内)	安西(内)	三次(内)	中原(内)	谷中(内) 超音波検査(予)①③	田中(内)
午後	田村(内)	安西(内)		中原(内)宮下 (糖)②④ 安部(整外)①③		

相互歯科

診療科目：歯科・小児歯科・矯正歯科
受付時間：午前8:45～12:00/午後～16:30/夜間～19:00
予約制急患随時 ※急患の方は、まずはお電話にてご連絡ください。
〒190-0022 立川市錦町1-17-10 **TEL** 042-525-6480 **FAX** 042-522-0348

	月	火	水	木	金	土	診療時間
午前	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療	9:00～13:00
	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療		○ 訪問診療	14:00～17:00(月・火・水・金・土) 13:00～17:00(木)
夜間				○			17:00～19:00

相互歯科地域口腔保健センター訪問診療部(電話080-3384-3575)

けんせい歯科

診療科目：歯科・小児歯科・矯正歯科
〒192-0082 八王子市東町2-3 八王子共立ビル4F
TEL 042-646-8883 **FAX** 042-646-8805

	月	火	水	木	金	土	診療時間
午前	○ 訪問診療	○	○ 訪問診療	○	○	○	9:00～13:00
	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療	○ 訪問診療		○	14:00～17:00(月・水・木・土) 14:00～19:30(火)

往診(訪問診療)は、診療所・歯科診療所で受け付けています。

▶訪問看護ステーション

いずれも午前9時～午後5時まで、FAXは24時間受け付けます

健生会にしき **TEL** 042-522-3621 健生会東中神 **TEL** 042-546-2919
(立川南部) **FAX** 042-522-3683 (昭島) **FAX** 042-546-2973

サテライト さかえ **TEL** 042-537-3441 健生会緑が丘 **TEL** 042-563-2133
(立川北部) **FAX** 042-537-3468 (武蔵村山) **FAX** 042-562-8098

健生会しんまち **TEL** 042-336-0600 健生会ひのだい **TEL** 042-582-7110
(府中) **FAX** 042-336-0603 (日野) **FAX** 042-582-7118

健生会日吉町 **TEL** 042-573-6599 健生会にしたま **TEL** 042-570-1815
(国分寺) **FAX** 042-573-6998 (羽村) **FAX** 042-570-1816

健生会きょうりつ **TEL** 042-645-6373
(八王子) **FAX** 042-645-6637

▶介護相談・ケアプランの作成

健生会ケアプランセンター昭島 **TEL** 042-544-9970
健生会ケアプランセンター国分寺 **TEL** 042-577-1701
健生会ケアプランセンター羽村 **TEL** 042-555-3180
健生会ケアプランセンター日野 **TEL** 042-581-4093
ケアプランセンターなのはな立川 (三多摩福祉会) **TEL** 042-523-7026
ケアプランセンターいきいき (八王子/いきいき福祉会) **TEL** 042-639-7625

▶地域包括支援センター

府中市地域包括支援センターしんまち **TEL** 042-340-5060
FAX 042-340-5622

国分寺地域包括支援センターひかり **TEL** 042-573-4058
FAX 042-573-4059

▶デイサービス

健生会デイサービスセンターたんぼぼ (八王子) **TEL** 042-639-7630
FAX 042-639-7635